

Advanced DV/SDI Converter

ADVC-1000

ユーザーズマニュアル

canopus

ご使用の前に

■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならぬことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の 注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノープス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL. 078-992-6830

(10:00~12:00、13:00~17:00)

※土、日、祝日および当社指定休日を除く



警告



●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください（体内の静電気を放電することになります）。



●電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。

ACアダプタを抜くときは、プラグ部分を持ってください。

コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。



●キャビネットを開けない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。



●ほこりや湿気の多い場所で使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因になります。



●内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因になります。

万一、水や異物が入った場合は本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



●国外では使用しない

本製品は、日本国内での使用を前提として設計されています。

海外では電源電圧が異なりますので、付属のACアダプタでは使用できません。

使用すると、火災や感電の原因となります。



●雷が鳴り出したら使用しない

本体やプラグには触れないでください。感電の原因になります。

**●ぬれた手でACアダプタを触らない**

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

**●直射日光の当たる場所に置かない**

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。
火災や製品の故障の原因となります。

**●煙が出た状態で使用しない**

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。
火災や製品の故障の原因になります。
異常が発生したら、本体の電源を切り、電源コードを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

**●製品が破損した状態で使用しない**

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。
火災や製品の故障の原因になります。
製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

**注意****●他社製品と併用されるとき注意事項**

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。

**●不安定な場所に置かない**

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。
けがをしたり、製品の故障の原因となります。

**●お手入れの際は電源を切る**

接続するときやお手入れの際は、電源プラグを抜いてください。
感電や製品の故障の原因となります。
お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の用材を使用してください。

**●指定外のACアダプタを使わない**

付属のACアダプタ以外の製品を使わないでください。
火災や製品の故障の原因となります。

**●コード類は正しく配置する**

電源コードやAVケーブルは整理して配置してください。
足に引っかけると、けがや製品の故障の原因となります。

**●本体を布などで覆わない**

風通しの悪い場所や布で覆った状態で使用しないでください。
通気孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

**●長期間使わないときはACアダプタを外す**

使用しないときは、安全のためACアダプタをコンセントから外してください。

**●ACアダプタに関する注意事項**

製品に付属しているACアダプタおよび電源ケーブルは、本製品の専用品となっています。
別のACアダプタを使用したり、組み合わせを変更して使用しないでください。

■個人情報の取扱いについて

当社では、原則として①ご記入いただいたお客様の個人情報とは下記の目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせいたします。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

1. ご利用の当社製品のサポートの実施
2. 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
＊ 調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供いたします。
3. 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
4. ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
5. 懸賞企画等で当選された方お客様への賞品の発送
＊ お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問い合わせは<http://www.canopus.co.jp/info/>までご連絡ください。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしました但、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、CANOPUS/カノープスおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) ADVCはカノープス株式会社の登録商標です。



表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。



警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、モニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

ADVC-1000

ユーザーズマニュアル

August 1,2005

Copyright © 2003-2005 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.

目次

第1章 確認	1
1. はじめに	2
1-1. パッケージ内容の確認	2
1-2. 製品のお問い合わせ窓口について	3
1-3. 当社ホームページについて	4
1-4. オンラインユーザー登録について	4
1-5. 制限事項について	4
ADVC-1000 の接続について	4
2. ADVC-1000 の特長	5
第2章 基本説明	7
1. 各部の名称と機能	8
1-1. ADVC-1000 フロントパネル	8
1-2. ADVC-1000 リアパネル	10
1-3. 液晶画面表示	11
1-4. ディップスイッチ設定	18
2. 接 続	19
2-1. ADVC-1000 接続例(スタンダード)	19
2-2. ADVC-1000 接続例(システム)	20
2-3. クイック設定	20
2-4. SDI データを PC に取り込む	21
2-5. PC で編集したものを VTR に録画する	21
3. 操作のしかた	22
3-1. 設定メニュー	22
4. 仕 様	39
付録：コンポーネント出力について(オプション)	41

Advanced DV/SDI Converter

ADVC-1000

1

確 認

この章では、ADVC-1000のセットアップを行う前に確認していただきたい事項や、ご注意ください事項について説明します。

- はじめに
- ADVC-1000の特長

1 はじめに

1-1. パッケージ内容の確認

ADVC-1000 のパッケージの中に p. 2 および p. 3 記載の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

カノプスカスタマーサポート

電話：078-992-5846

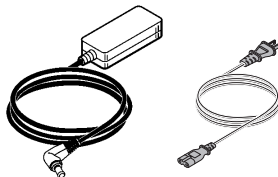
(※月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日および当社指定休日を除く)

■ ADVC-1000 同梱物

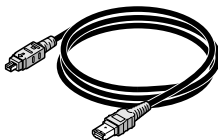
☐ ADVC-1000 (1 台)



☐ AC アダプタ & ケーブル (各 1 本)



☐ DV ケーブル [6pin-4pin] (1 本)



☐ マニュアル

- ADVC-1000 ユーザーズマニュアル(本書)

□ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼保証書

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください(ご登録いただけていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます)。

ユーザー登録カードの各項目に必要な事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離したユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくはオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

1-2. 製品のお問い合わせ窓口について

本製品のお問い合わせは、下記の窓口にて受け付けております。電話番号は、お間違えのないようにおかけください。

カスタマーサポート窓口 TEL. 078-992-5846

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2

カノープス株式会社 カスタマーサポート宛

10:00～12:00/13:00～17:00(土日祝日、当社指定休日は除く)

※ 修理状況のご確認や保守部品に関するご質問承り窓口です。

テクニカルサポート窓口 TEL. 078-992-6830

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2

カノープス株式会社 テクニカルサポート宛

10:00～12:00/13:00～17:00(土日祝日、当社指定休日は除く)

※ 修理のご依頼や製品の使用方法に関するご質問承り窓口です。

1-3. 当社ホームページについて

ADVC-1000をはじめとする当社最新情報をホームページ (<http://www.canopus.co.jp>) にて発信しています。当社製品の最新ドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただき快適なパソコン環境を実現してください。

1-4. オンラインユーザー登録について

お客様がインターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただかなくとも当社ホームページ上でユーザー登録することができます。オンラインユーザー登録ページ (<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>) にアクセスしていただき、是非ご登録ください。

1-5. 制限事項について

ADVC-1000 をご使用いただくにあたり、以下の制限事項がありますのであらかじめご確認ください。

■ ADVC-1000 の接続について

PC と併用する場合、ADVC-1000 を接続しているケーブルの脱着は、必ずPC 本体の電源をオフにした状態で行ってください。

2 ADVC-1000 の特長

1. Digital to Digital 変換ユニット

業務用デジタル映像のスタンダードである SDI 信号と PC との親和性の高い DV 信号を双方向に変換します。定評あるカノーパス DV コーデックを採用することによって、確かな品質を保持した信号に変換します。

2. 完全に同期した信号を生み出す DV-SDI 変換

外部からの同期信号を受けながら DV 信号を SDI 信号に変換します。カノーパス独自の制御方式（特許出願中）により、フレームスキップ・ホールドを発生させずにリファレンス信号に完全に同期して DV-SDI 変換することを実現しています。

3. あらゆるスタジオユースに対応したプロフェッショナル仕様

AV/C-RS422 変換による VTR コントロールやリファレンス入力・TC 入出力も完備しており、あらゆるスタジオシステムにも問題なく導入可能な設計です。また、4 チャンネルエンベデッドオーディオサポートにより、幅広い映像システムの構築も可能となっています。

■ ご使用に当たっての留意事項 ■

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に表示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

Advanced DV/SDI Converter

ADVC-1000

2

基本説明

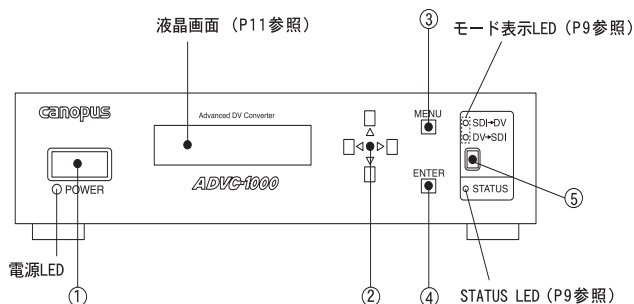
この章では、ADVC-1000の各部の機能などを説明します。

- 各部の名称と機能
- 接 続
- 操作のしかた
- 仕 様

1 各部の名称と機能

1-1. ADVC-1000 フロントパネル

ADVC-1000 フロントパネルには以下のようなコントローラおよびインジケータ類があります。



① POWER スイッチ

ADVC-1000 の電源を ON/OFF します。

② セレクトキー

▲・▼キーでメニューの項目を選択し、◀・▶キーで設定を変更します。
サブメニューをもたない項目はセレクトキー操作で設定が決定されます。

③ MENU キー

メイン画面とメニュー画面の液晶表示を相互に切り替えます。

④ ENTER キー

メニュー画面で設定完了後、メイン画面に戻る時に押します。
サブメニューが設定されている項目では、サブメニュー画面に移動する時に押します。また、サブメニューが設定されている項目では、設定変更後、再度ENTER キーを押して設定の変更を決定します。

※ サブメニュー画面で設定を変更しない場合は、MENU キーで一度メイン画面に戻して下さい。

⑤ モード切替スイッチ

SDI → DV、DV → SDI の動作モードを切り替えます。

※ メニュー設定により、モード切り替えが禁止される場合があります。(P33 参照)

• **モード表示 LED**

SDI → DV LED 点灯時、ADVC-1000 は SDI ビデオ信号および SDI エンベデッドオーディオ信号または AES/EBU オーディオ信号を DV 信号に変換します。DV → SDI LED 点灯時、DV 信号を SDI ビデオ信号、SDI エンベデッドオーディオ信号、AES/EBU オーディオ信号に変換します。

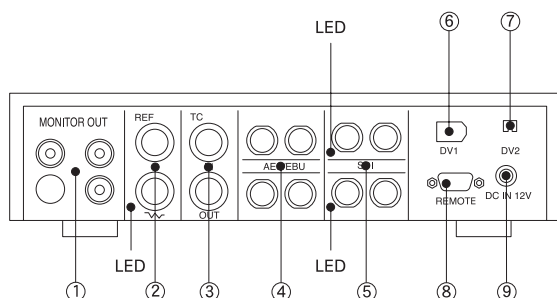
• **STATUS LED**

STATUS LED の表示は下表の状況を意味しています。

消灯	9 ピンリモート制御が無効です。
緑色点灯	9 ピンリモート制御が有効です。
赤色点灯	9 ピンリモート制御を有効に設定しましたが、通信エラーのためリモート制御できません。9 ピンリモートケーブルの接続が正しいこと、接続対象機器の電源が投入されていること、対象機器のリモート制御設定が有効であること等を確認してください。
赤色点滅	ADVC-1000 の動作上重大なエラーが発生しています。または動作に必要な信号のいくつかを検出できません。 エラーステータス画面を確認し、必要な信号を正しく入力するか、あるいは ADVC-1000 の設定を変更してください。

1-2. ADVC-1000 リアパネル

ADVC-1000 リアパネルには以下のような接続端子類があります。



① モニタ端子

モニター用テレビ、スピーカーに接続する出力端子です。

② REF 端子

リファレンス信号(同期信号)を受ける入力端子です。リファレンス信号入力が検出されるとLEDが赤く点灯します。REF端子にはスルー出力があります。出力端子にケーブルが接続されていない時は、75Ωで自動終端します。

③ TC 端子

タイムコード入出力端子です。

④ AES/EBU 端子

デジタルオーディオ入出力端子です。

⑤ SDI 端子

業務用デジタル映像及びエンベデッドオーディオ信号の入出力端子です。SDI入力を検出すると、SDI入力端子左横のLEDが赤く点灯します。SDI出力時、SDI出力端子左横のLEDが赤く点灯します。

⑥ DV1 端子

6ピンDV端子です。

⑦ DV2 端子

4ピンDV端子です。

⑧ REMOTE 端子

リモートコントロール用端子です。

⑨ 電源端子

DC12Vの電源端子です。付属のACアダプターをご使用ください。

1-3. 液晶画面表示

メイン画面は3種類あります。上下セレクトキー(▲・▼)で表示画面を切り替えることができます。また、左右セレクトキー(◀・▶)を押すことで、エラーステータス画面とメイン画面を切り替えます。MENUキーを押すと、設定メニュー画面へ移動します。

メイン画面 1

動作中のステータスを表示する画面です。

● SDI → DV モード時

① DV オーディオ出力 (画面左上)



The LCD display shows the audio output status. The top line reads "48kHzCH1/2 Embedded" and the bottom line reads "PLAY 00:00:03:22".

48kHzCH1/2 デジタルオーディオ入力CH1、2をDV オーディオ 48kHz/16bit/2chにエンコードしています。

48kHzCH3/4 デジタルオーディオ入力CH3、4をDV オーディオ 48kHz/16bit/2chにエンコードしています。

32kHzCH1234 デジタルオーディオ入力CH1、2、3、4をDV オーディオ 32kHz/12bit/4chにエンコードしています。

② デジタルオーディオ入力 (画面右上)



The LCD display shows the digital audio input status. The top line reads "48kHzCH1/2 Embedded" and the bottom line reads "PLAY 00:00:03:22".

Embedded デジタルオーディオ入力をSDI入力端子のエンベデッドオーディオから得ています。

AES/EBU デジタルオーディオ入力をAES/EBU入力端子から得ています。

SG (内蔵カラーバー出力時のみ) デジタルオーディオ入力を1kHz/-18dB または 1kHz/-20dB の音声信号から得ています。

③ 9ピンリモートコントロールデッキ状態 (画面左下)



空欄の場合..... 9ピンリモートコントロールを使用しません。

NoDevice デッキが見つかりません。ケーブルの接続状況を確認してください。

NoCASSETTE デッキにテープが挿入されていない状態を検出しました。

STOP デッキは停止状態です。

PLAY デッキは再生状態です。

STILL デッキはポーズ状態です。

F.FWD デッキは早送り状態です。

REW デッキは巻き戻し状態です。

REC デッキは録画状態です。

SHUTTLE デッキはトリックプレイ状態です。

④ DV 出力タイムコード表示 (画面右下)



00:00:03:22 PALおよびNTSCノンドロップフレームの場合(秒とフレームの間の区切りがコロンになります。)

00:00:03;22 NTSCドロップフレームの場合(秒とフレームの間の区切りがセミコロンになります。)

--:--:--:-- DV信号を出力していません。

※ タイムコードが入力されていない場合および内蔵カラーバー出力時はフリーランタイムコードとなります。

● DV → SDI モード時

① DV オーディオ入力 （画面左上）

A rectangular display box with a dark background and light-colored text. The top line shows '32kHz/4ch' followed by a right-pointing arrow and the word 'both'. The bottom line shows 'REC' followed by a space and a time code '00:00:03:22'.

48kHz/2ch DV オーディオが48kHz/16bit/2chで入力されています。デジタルオーディオ出力のCH3、4はそれぞれCH1、2のコピーとなります。

32kHz/4ch DV オーディオが32kHz/12bit/4chで入力されています。

32kHz/2ch DV オーディオが32kHz/16bit/2chで入力されています。デジタルオーディオ出力のCH3、4はそれぞれCH1、2のコピーとなります。

44kHz/2ch DV オーディオが44.1kHz/16bit/2chで入力されています。デジタルオーディオ出力のCH3、4はそれぞれCH1、2のコピーとなります。

No Stream DV 信号が入力されていません。

SG (内蔵カラーバー出力時のみ)DV 信号入力にかかわらず、デジタルオーディオ出力は1kHz/-18dBまたは1kHz/-20dBのオーディオ信号を出力します。

② デジタルオーディオ出力先 （画面右上）

A rectangular display box with a dark background and light-colored text. The top line shows '32kHz/4ch' followed by a right-pointing arrow and the word 'both'. The bottom line shows 'REC' followed by a space and a time code '00:00:03:22'.

both SDI出力エンベデッドオーディオ出力とAES/EBUオーディオ出力の両方に同じ内容を出力します。

③ 9ピンリモートコントロールデッキ状態 （画面左下）

A rectangular display box with a dark background and light-colored text. The top line shows '32kHz/4ch' followed by a right-pointing arrow and the word 'both'. The bottom line shows 'REC' followed by a space and a time code '00:00:03:22'.

SDI → DV モード時と同じです。

（P12『③ 9ピンリモートコントロールデッキ状態』参照）

④ DV 入力タイムコード表示 (画面右下)



32kHz/4ch > both
REC 00:00:03:22

00:00:03:22 PALおよびNTSCノンドロップフレームの場合(秒とフレームの間の区切りがコロンになります。)

00:00:03:22 NTSCドロップフレームの場合(秒とフレームの間の区切りがセミコロンになります。)

--:--:--:-- DV信号が入力されていません。

※ DV信号に有効なタイムコードが含まれていない場合、または内蔵カラーバー出力時はフリーランタイムコードとなります。

＝ メイン画面2 ＝

現在の設定内容を表示する画面です。

① アナログモニターオーディオ出力 (画面上段)



Monitor out: 1+3/2+4
TC source: DVITC NTSC

1/2 CH1、CH2を出力しています。

3/4 CH3、CH4を出力しています。

1+3/2+4 CH1とCH3のMIX、CH2とCH4のMIXを出力しています。

1+2+3+4 CH1、CH2、CH3、CH4のMIXを出力しています。

② タイムコード入力 (画面下段中)



Monitor out: 1+3/2+4
TC source: DVITC NTSC

DVITC SDIビデオ入力信号上のDVITC信号を取得し、出力されるDVストリーム上のタイムコードとします。

(リモート制御有効時)

リモート端子を経由して問い合わせたVITCを利用します。
リモートからVITCを取得できなかった場合、SDIビデオ入力信号上のDVITC信号を利用します。

LTC TC IN端子に入力されるLTC信号を取得し、出力されるDV
ストリーム上のタイムコードとします。

(リモート制御有効時)

TC IN端子に入力されるLTC信号が無効であった場合、リ
モート端子を経由して問い合わせたLTCを利用します。

auto TC IN端子に入力されるLTC信号およびSDIビデオ入力信号
上のDVITC信号を取得し、LTCが有効であればLTCを、LTC
が有効でない場合にはDVITCを出力されるDVストリーム上
のタイムコードとします。

(リモート制御有効時)

TC IN端子に入力されるLTC信号が無効であった場合、リ
モート端子を経由してLTC/VITC自動選択TCを問い合わせま
す。リモートから自動選択TCを取得できなかった場合、SDI
ビデオ入力信号上のDVITC信号を利用します。

③ ビデオスタンダード (画面下段右)



Monitor out: 1+3/2+4
TC source: DVITC NTSC

NTSC NTSCモードで動作しています。

PAL PALモードで動作しています。

※ ビデオスタンダード設定は本体下面のディップスイッチ SW4 またはメニュー項目「19
video standard」の設定内容にしたがって設定されます。

(P18 『1-4. ディップスイッチ設定』、P28 『19 video standard』 参照)

メイン画面 3

現在の設定内容を表示する画面です。

① 外部同期有効・無効 (画面上段)



GENLOCK: enable
REMOTE: enable

disable 外部同期機能は無効です。

enable 外部同期機能が有効です。

advanced 「完全同期モード」の外部同期機能が有効です。(P31 参照)

② 9ピンリモート有効・無効（画面下段）

```
GENLOCK:enable  
REMOTE:enable
```

disable..... 9ピンリモートコントロールが無効です。

enable..... 9ピンリモートコントロールが有効です。

エラーステータス画面

エラーの内容を表示する画面です。

・エラーの無い時

```
No Error
```

・エラー発生時

① タイムコード（画面上段）

```
not detected:DVITC  
SDI in REF in AES1234
```

LTC..... タイムコード入力にLTCが選択されており、SDI→DVモード時に TC 端子からタイムコード信号を検出できません。

DVITC..... タイムコード入力にDVITCが選択されており、SDI→DVモード時に SDI 入力端子からDVITCを検出できません。

TC..... DV→SDIモード時、入力されているDV信号からタイムコードを検出できません。

autoTC..... タイムコード入力にautoが選択されており、SDI→DVモード時に TC IN 端子 SDI 入力端子双方から TCを検出できません。

② 各種入力（画面下段）

```
not detected DVITC  
SDI in REF in AES1234
```

- SDI in SDI → DV モードで SDI 入力信号を検出できません。または、SDI 入力への外部同期を行う設定ですが SDI 入力信号を検出できません。
- REF in REF 端子に入力されたリファレンス信号に対して同期を行う設定になっていますが、REF 端子へ入力された同期信号を検出できません。
- AES12 SDI → DV モードで AES/EBU オーディオ入力を選択されていますが、DV エンコードに使用される CH1、2 について信号を検出できません。
- AES 34 SDI → DV モードで AES/EBU オーディオ入力を選択されていますが、DV エンコードに使用される CH3、4 について信号を検出できません。
- AES1234 SDI → DV モードで AES/EBU オーディオ入力を選択されていますが、DV エンコードに使用される CH1、2、3、4 について信号を検出できません。

— その他のエラー —

```
JitterAttenuateFail  
turn off menu #62
```

入力信号の変動が、ADVC-1000 のジッタ低減機能の許容限界を超えています。設定メニュー 62 番 "62 jitter attenuator" を "off" に変更して運用してください。

```
set menu #13 to  
'through out'
```

DV オーディオエンコード設定が 32kHz の場合、設定メニュー 13 番 "digital audio out" での設定 "selected audio" は機能しません。"digital audio out" の設定を "through out" に変更するか、DV オーディオエンコード設定を 48kHz に変更して運用してください。

1-4. ディップスイッチ設定

ADVC-1000 の底面/パネルに以下のようなディップスイッチがあります。ディップスイッチは出荷時にはすべて OFF に設定されています。

ON →	No.	MODE	OFF	ON
1	1	PHY SPEED	S400	S200
2	2	Update Mode	Normal	Update
3	3	NTSC Setup Level	0 IRE	7.5 IRE
4	4	Video Format	NTSC	PAL
5	5	Reserved		
6	6	Reserved		
7	7	Reserved		
8	8	Reserved		

SW1 - PHY SPEED

PHY SPEED を設定します。

※ 設定メニュー「66 data rate cap.」を「S400」に設定している場合、ONにしないでください。
(P37 参照)

OFF:S400 ON:S200

SW2 - Update Mode

内部ソフトウェア更新時に使用します (通常は OFF でお使いください)。

OFF:Normal ON:Update

SW3 - NTSC Setup Level

黒(セットアップ)レベルを設定します。ビデオフォーマット(スタンダード)が NTSC の場合のみ有効となります。

※ 設定メニュー「19 video standard」が「set by DIPS switch」の場合に有効です。
(P28 『19 video standard』 参照)

OFF:0 IRE (日本) ON:7.5 IRE (北米)

SW4 - Video Format

ビデオ信号形式を設定します。

※ OFF の時は、設定メニュー「19 video standard」(P28 参照) の設定を適用します。

OFF:NTSC ON:PAL

SW5 - Reserved

使用しません (通常は OFF でお使いください)。

SW6 - Reserved

使用しません (通常は OFF でお使いください)。

SW7 - Reserved

使用しません (通常は OFF でお使いください)。

SW8 - Reserved

使用しません (通常は OFF でお使いください)。



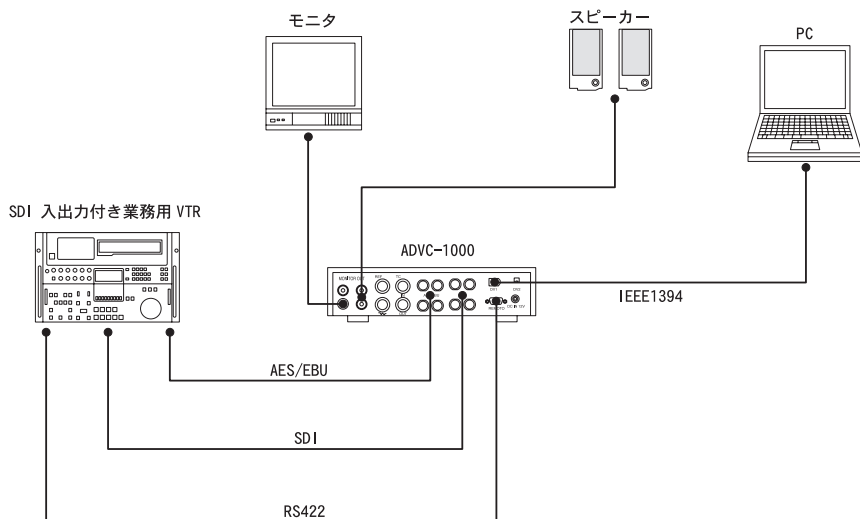
注 意

ディップスイッチの設定変更は、ADVC-1000 の電源を切ってから行ってください。
SW5 ~ 8 は OFF の設定でご使用ください。ON 状態で使用した場合、誤動作の恐れがあります。

2 接続

2-1. ADVC-1000 接続例(スタンダード)

ADVC-1000 を接続します。以下の図は、ADVC-1000 の一般的な接続例を記載しています。



注意

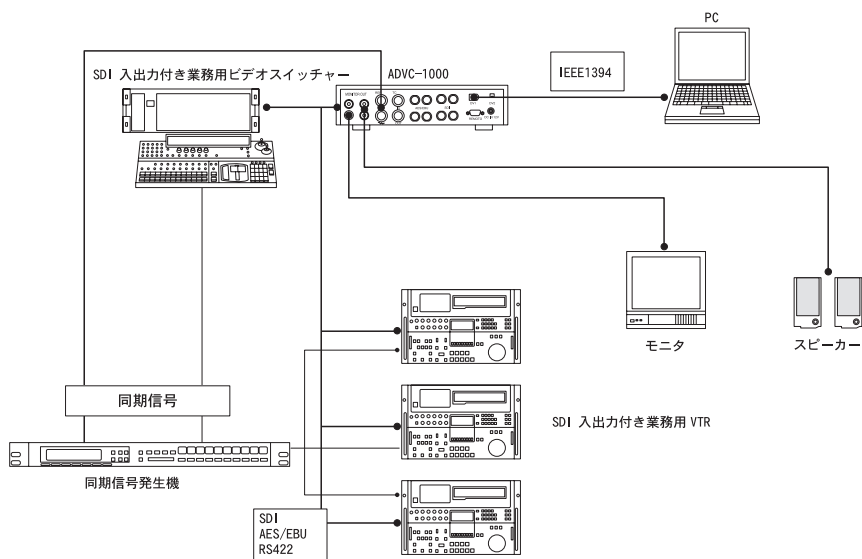
PCへのデジタルデータ変換やテープへの録画はPC本体にIEEE1394ポートが必要です。また、DV編集ソフトウェアも必要となります。



Note

ADVC-1000 とPCを接続する場合は、PCの電源が入っていない状態で行ってください。

2-2. ADVC-1000 接続例(システム)



2-3. クイック設定

モード	設定項目	設定内容	参照ページ
DV → SDI	22 DVITC insert line	ライン指定または off	29
	31 ext. sync	disable, enable, advanced	31
SDI → DV	11 DV audio encode	48kHz CH1/2, 32kHz CH1234, 48kHz CH3/4	23
	12 digital audio in	Embedded, AES/EBU	23
	21 TC input source	DVITC, LTC, auto	29

* この他にも様々な設定があります。詳しくはP22「3-1. 設定メニュー」の項をご覧ください。

2-4. SDI データを PC に取り込む

1. ADVC-1000 フロントパネルのモード切替スイッチを押して [SDI → DV] に切り替えてください。
2. ADVC-1000 フロントパネルの **[MENU]** キー、セレクトキーで希望の設定を行ってください。
3. DV 編集ソフトウェアを使用してキャプチャしてください。
※ DV 編集ソフトウェアの操作方法については、ご使用の DV 編集ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

2-5. PC で編集したものを VTR に録画する

PC の DV データを VTR に録画します。

1. ADVC-1000 フロントパネルのモード切替スイッチを押して [DV → SDI] に切り替えてください。
2. DV 編集ソフトウェアを使用してデータを出力してください。
※ DV 編集ソフトウェアの操作方法については、ご使用の DV 編集ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
3. VTR でテープに録画を行ってください。

3 操作のしかた

3-1. 設定メニュー

1. **[MENU]**キーを押します。
2. 液晶画面に設定メニューが表示されます。
3. 上下セレクトキー(▲・▼)を操作し、メニュー項目を選択します。次に左右セレクトキー(◀・▶)で設定を変更します。設定変更後は**[ENTER]**キーでメイン画面に戻ります。
4. サブメニューが設定される項目では、メニュー項目が表示された状態で**[ENTER]**キーを押して、サブメニュー画面に切り替えて設定を変更します。また、設定の変更をしない場合は、**[MENU]**キーを押してメイン画面に切り替えて下さい。

※ ディップスイッチ SW3・SW4 またはメニュー項目「19 video standard」の設定を変更後に電源を投入すると、「19 video standard」を除き工場出荷時設定に戻ります。

(P18 『1-4. ディップスイッチ設定』、P28 『19 video standard』 参照)

セレクトキー操作



メニュー項目選択 (11 ~ 72 の設定メニュー項目に順次切り替わります)



メニュー内容選択 (セレクトキー操作で設定を変更します)

設定グループ

10 番台.....	A/V 入出力関連.....	P23 ~ P28
20 番台.....	タイムコード関連.....	P29 ~ P30
30 番台.....	外部同期関連.....	P31 ~ P32
40 番台.....	9 ピンリモート制御関連.....	P33
50 番台.....	基準信号出力関連.....	P34
60 番台.....	その他詳細設定.....	P35 ~ P37
70 番台.....	システム関連.....	P38

11 DV audio encode

SDI → DV モード (DV エンコード) 時の DV オーディオフォーマットを選択します。

11 DV audio encode
48kHz CH1/2

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
48kHz CH1/2	48kHz/2chとし、オーディオ入力CH1、CH2をエンコードします。 (工場出荷時設定)
32kHz CH1234	32kHz/4chとし、オーディオ入力CH1、CH2、CH3、CH4を エンコードします。
48kHz CH3/4	48kHz/2chとし、ただしオーディオ入力CH3、CH4をそれぞれ DV側に対してCH1、CH2としてエンコードします。

12 digital audio in

SDI → DV モード (DV エンコード) 時のデジタルオーディオ入力を選択します。

12 digital audio in
Embedded

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
Embedded	SDI エンベデットオーディオを選択します。 (工場出荷時設定)
AES/EBU	AES/EBUオーディオを選択します。

13 digital audio out

SDI → DV モード (DV エンコード) 時のデジタルオーディオ出力を選択します。

13 digital audio out
through out

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
through out	それぞれの入力オーディオをそのまま出力します。 (工場出荷時設定)
selected audio	12 digital audio inメニューで選択したオーディオを 出力します。

- ※ 11 DV audio encode の設定が 32kHz の場合、selected audio は機能しません。
through out に変更するか、11 DV audio encode の設定を 48kHz に変更してください。
- ※ DV → SDI モード (DV デコード) 時は、DV オーディオ入力が出力されます。

14 analog audio mon.

アナログモニターオーディオ出力端子への出力を選択します。

14 analog audio mon.
CH1/2

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
CH1/2	オーディオCH1、CH2を出力します。(工場出荷時設定)
CH3/4	オーディオCH3、CH4を出力します。
CH1+3/2+4	オーディオCH1とCH3のMIX、CH2とCH4のMIXを出力します。
CH1+2+3+4	オーディオCH1、CH2、CH3、CH4のMIXを出力します。

15 SDIout auto-off

SDI→DVモード(DVエンコード)時にSDI出力を自動的に停止する制御を選択します。

15 SDIout auto-off
off

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
off	SDI出力を停止しません。 (工場出荷時設定)
on	SDI出力を停止します。

※ ADVC-1000 のSDI出力端子とお手持ちの機器のSDI入力端子、ADVC-1000 のSDI入力端子とお手持ちの機器のSDI出力端子を同時に接続し、さらに外部同期信号を使用しない場合、信号のループ接続を回避させるためにこの項目を「on」に設定してご利用ください。

16 DVout auto-mute

SDI→DVモード(DVエンコード)時にDV出力を自動的に停止する制御を選択します。

16 DVout auto-mute
no SDI in

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
no SDI in	SDI入力が入力の場合、DV出力を停止します。 (工場出荷時設定)
no SDI/AES in	SDI入力とAES/EBU入力が入力の場合DV出力を停止します。
off	DV出力を停止しません。

17 DVout aspect info

SDI→DVモード(DVエンコード時)にADVC-1000が出力するDVストリームのアスペクト比情報を選択します。

17 DVout asPect info
4:3

液晶画面表示

NTSCの場合

設 定	設 定 内 容
4:3	DVストリームにアスペクト比4:3を設定します。 (工場出荷時設定)
16:9 (letter box)	DVストリームにアスペクト比16:9レターボックスを設定します。
16:9 (squeeze)	DVストリームにアスペクト比16:9スクイーズを設定します。

PALの場合

設 定	設 定 内 容
4:3	DVストリームにアスペクト比4:3を設定します。
16:9 (letter box)	DVストリームにアスペクト比16:9レターボックスを設定します。
16:9 (anamorphic)	DVストリームにアスペクト比16:9アナモフィック(スクイーズ)を設定します。

※ 当社製EDIUS等のアプリケーションソフトウェアでのキャプチャに反映されます。

18 analog video mon.

アナログモニタビデオ出力コネクタから出力される信号形式を設定します。

18 analog video mon.
composite/s-video

液晶画面表示

NTSC の場合

設 定	設 定 内 容
composite/ s-video	コンポジット信号とSビデオ信号を出力します。 (工場出荷時設定)
component (Betacam)	コンポーネント信号を出力し、信号レベルをBetacam相当とします。
component (SMPTE)	コンポーネント信号を出力し、信号レベルをSMPTE準拠とします。

PAL の場合

設 定	設 定 内 容
composite/ s-video	コンポジット信号とSビデオ信号を出力します。
component (EBU)	コンポーネント信号を出力し、信号レベルをEBU準拠とします。

※ コンポーネント出力時の接続方法については P41 『付録：コンポーネント出力について（オプション）』を参照してください。

19 video standard

ビデオスタンダード設定を選択するサブメニューを持ちます。

19 video standard

液晶画面表示

• 19-1 video standard

ビデオスタンダード設定を選択します。

19-1 video standard
set by DIP switch

設 定	設 定 内 容
NTSC (525) / 01RE	NTSC、セットアップレベルを01REに設定します。
NTSC (525) / 7.51RE	NTSC、セットアップレベルを7.51REに設定します。
PAL (625)	PALに設定します。
set by DIP switch	本体下面ディップスイッチSW4およびSW3の設定に依存します。 (工場出荷時設定)

※ビデオスタンダード設定変更(セットアップレベルの変更も含む)を適用した後、本体の電源をOFFにする必要があります。

※ 本体下面ディップスイッチ SW4(P18 参照)が ON の場合、強制的に PAL が選択されます。
このメニューによる変更を行うためにはディップスイッチ SW4 が OFF になっている必要があります。

21 TC input source

SDI → DV モード (DV エンコード) 時に取得するタイムコードを選択します。

```
21 TC input source
DVITC
```

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
DVITC	SDI入力端子のDVITCからタイムコードを取得します。
LTC	TC入力端子からタイムコードを取得します。
auto	SDI入力のDVITCおよびLTCからタイムコードを取得し、LTCが取得された場合はLTCを、LTCが取得できなかった場合はDVITCを利用します。 (工場出荷時設定)

22 DVITC insert line

DVITC に関する設定をいくつか選択するサブメニューを持ちます。

- ※ [ENTER]キーを押すとサブメニュー画面に切り替わります。設定変更後、[ENTER]キーを押してメイン画面に切り替えてください。
- ※ 設定変更しない場合は、[MENU]キーを押して、一度メイン画面に戻してください。

```
22 DVITC insert line
```

液晶画面表示

• 22-1 encode line 1

DV→SDI モード (DV デコード) 時にSDI 出力に対してDVITCを挿入するライン(その1)を設定します。

```
>22-1 encode line 1
line 14
```

設 定	設 定 内 容
ライン指定	NTSC : 10~20(工場出荷時設定: 14) PAL : 6~22(工場出荷時設定: 19)
off	挿入しません。

• 22-2 encode line 2

DV→SDI モード(DVデコード)時にSDI 出力に対してDVITCを挿入するライン(その2)を設定します。

```
>22-2 encode line 2  
line 16
```

設 定	設 定 内 容
ライン指定	NTSC : 10~20(工場出荷時設定: 16) PAL : 6~22(工場出荷時設定: 21)
off	挿入しません。

• 22-3 decode line

SDI→DV モード(DVエンコード)時にSDI 入力からDVITCを読み取るラインを設定します。

```
>22-3 decode line  
auto detect
```

設 定	設 定 内 容
ライン指定	NTSC : 10~20 PAL : 6~22
auto detect	自動判別(工場出荷時設定)

※ 通常はauto detect(自動判別)を使用してください。

31 ext. sync

外部同期動作について以下の動作を選択します。

31 ext. sync
disable

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
disable	外部同期を使用しません。 (工場出荷時設定)
enable	外部同期を使用します。
advanced	外部同期動作を「完全同期モード」として使用します。(P5参照)

※ DV → SDI モード(DV デコータ)時のみ有効です。

※ advanced 設定はPCの1394OHCI準拠 IEEE1394 ポートからDV出力される場合のみ機能します。
PCの対応OSについては、当社ホームページ等でご確認ください。

32 ext. sync source

外部同期を行う場合、同期信号として用いるソースを選択します。

32 ext. sync source
REF. IN

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
REF. IN	REF端子に入力される信号に同期します。 (工場出荷時設定)
SDI IN	SDI入力端子から入力される映像信号に含まれる 同期信号に同期します。

33 ext. sync conf.

外部同期入力に対するビデオ出力の遅延量(システム位相)を37ナノ秒単位で増減する設定を行います。

※ [ENTER]キーを押すと数値編集モードに液晶画面が切り替わります。

- ① 左右セレクトキー(◀▶)で、編集する桁に移動します。
- ② 上下セレクトキー(▲▼)で、数値を増減します。
- ③ [ENTER]キーを押すと数値編集モードを終了します。

```
33 ext. sync conf.>
  0
```

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
数値指定	-1024 ~ +1023の範囲の数値に設定できます。 (工場出荷時設定: 0)

34 audio delay

外部同期を行う場合、ビデオ出力に対するオーディオ出力の遅延量をミリ秒単位で増減する設定を行います。

※ [ENTER]キーを押すと数値編集モードに液晶画面が切り替わります。

- ① 左右セレクトキー(◀▶)で、編集する桁に移動します。
- ② 上下セレクトキー(▲▼)で、数値を増減します。
- ③ [ENTER]キーを押すと数値編集モードを終了します。

```
34 audio delay>
  0 msec
```

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
数値指定	-100 ~ +100ミリ秒の範囲の数値に設定できます。 (工場出荷時設定: 0)

41 9P remote

リモート端子によるデッキ制御を選択します。

41 9P remote
off

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
off	リモート端子によるデッキ制御を使用しません。 (工場出荷時設定)
on	リモート端子によるデッキ制御を使用します。
function test mode	試験用の特殊なモードです。 通常は設定しないでください。

42 local disable

モード切替スイッチの有効・無効を選択します。

42 local disable
off

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
off	動作モード切替を許可します。 (工場出荷時設定)
on	動作モード切替を禁止します。
auto	リモート端子によるデッキ制御が有効である場合のみ禁止します。
off(PB mode)	動作モード切替を許可し、AV/Cコマンドによる動作モード切替を禁止します。

51 color bar output

カラーバー出力の動作を選択します。

51 color bar outPut
off

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
off	カラーバーを出力しません。 (工場出荷時設定)
on	カラーバーを出力します。 SDI→DVモードの場合、DV, SDI, AES/EBU, アナログモニタに出力します。 DV→SDIモードの場合、SDI, AES/EBU, アナログモニタに出力します。

※ 外部同期機能は使用できません。

※ フリーランタイムコードが出力されず。

52 SG audio level

カラーバー出力モード時の1kHzテスト音声信号出力について以下の動作を選択します。

52 SG audio level
-18 dB

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
-18 dB	カラーバー出力モード時、-18dB 1kHzテスト音声信号を出力します。 (PAL 工場出荷時設定)
-20 dB	カラーバー出力モード時、-20dB 1kHzテスト音声信号を出力します。 (NTSC 工場出荷時設定)

61 IEEE1394 clk adj.

通常は工場出荷時設定(127)でご使用ください。

61 IEEE1394 clk adj.
127

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
数値指定	0 ~ 255の範囲の数値を設定できます。 (工場出荷時設定: 127)

62 jitter attenuator

SDI 出力のジッタ低減機能の有効・無効を選択します。

62 jitter attenuator
off

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
off	ジッタ低減機能を無効にします。 (工場出荷時設定)
on	ジッタ低減機能を有効にします。

※ 非標準信号が入力された場合、ジッタ低減機能の許容限界を超えてSDI出力およびアナログモニタビデオ出力が異常になることがあります(エラーステータス画面に表示されます)。そのような場合は、offの設定でご使用ください。

63 cycle master

IEEE1394 サイクルマスタの取得可否を選択します。

※ ADVC-1000 同士を IEEE1394 ケーブルで対向接続することが可能になります。

63 cycle master
on

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
on	サイクルマスタを取得します。 (工場出荷時設定)
off	サイクルマスタを取得しません。

※ "off" に設定した場合「アドバンスドモード外部同期」が機能しません。

64 resample filter

NTSC 時のみ

NTSC モード時、Cb/Cr 信号の水平リサンプリングフィルタ特性を変更します。

64 resample filter
default

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
default	デフォルト係数を設定します。 (工場出荷時設定)
type 1	エイリアス除去を重視した係数を設定します。
type 2	周波数特性を重視した係数を設定します。

65 AV/C transaction

AV/Cコマンド受信時にADVC-1000が返答するAV/Cトランザクション形式を選択します。

65 AV/C transaction
immediate

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
immediate	AV/Cイミディエートトランザクションを実行します。 (工場出荷時設定)
deferred	INTERIM応答を行い、AV/Cディファードトランザクションを実行します。

66 data rate cap.

起動時と設定変更時にIMPR/OMPRの“dr cap”フィールドの最大通信速度を設定します。

66 data rate cap.
S100

液晶画面表示

設 定	設 定 内 容
S100	100Mbpsを設定する (工場出荷時設定)
S200	200Mbpsを設定する
S400	400Mbpsを設定する

※ 本体下部ディップスイッチ SW1 - PHY SPEED (P18 参照) が ON (S200) の状態で利用される場合には、このメニュー項目を S400 に変更しないでください。

71 system version

ファームウェアなどのバージョン番号を表示するサブメニューを持ちます。

※ [ENTER]キーを押すと、サブメニュー画面に切り替わります。

```
71 system version>
```

液晶画面表示

72 factory default

各設定を工場出荷時設定へ戻すサブメニューを持ちます。

※ [ENTER]キーを押すと、サブメニュー画面に切り替わります。

```
72 factory default>
```

液晶画面表示

• 72-1 reset settings

[ENTER]キーを押すと、各設定を工場出荷時設定へ戻します。

※ 工場出荷時設定に戻さない場合は、[MENU]キーを押して、一度メイン画面に戻してください。

```
>72-1 reset settings
```

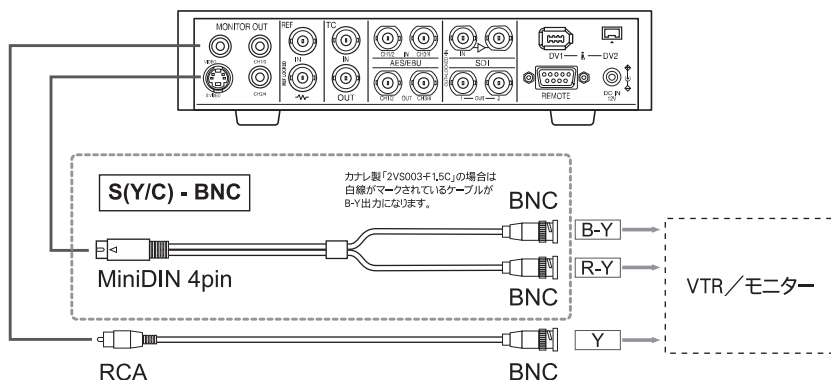
4 仕 様

ビデオ入力	SDI	BNC x 2 (SDI IN + ACTIVE THROUGH、 SMPTE 259M-C)
ビデオ出力	SDI	BNC x 2 (SMPTE 259M-C)
	アナログ	RCA x 1 (コンポジット)、S 端子 x 1 ※別売ケーブルの使用でコンポーネント出力が可能(排他使用) (P41参照)
DV入出力		4pin x 1, 6pin x 1 (バスパワー供給無し)
オーディオ 入力	SDI	エンベデッドオーディオ (SMPTE 272M-A, 20bit/48kHz, Locked) 4ch入力対応 ※SDIからDV(2ch)変換時は、ch1/2 または ch3/4 どちらかを選択可能。SDIからDV(4ch)では、ch1～ch4をそのまま32kHz/12bit/ch1～ch4 に変換します。
	AES/EBU	BNC x2 (ch 1/2、 ch 3/4) 32/44. 1/48kHz、 16/20/24bit (Unlocked/Locked)
	DV	32/44. 1/48kHz 16bit 2ch (Unlocked/Locked) 32kHz 12bit 4ch (Unlocked/Locked)
オーディオ 出力	SDI	エンベデッドオーディオ (SMPTE 272M-A, 20bit/48kHz, Locked) 4ch出力対応 ※DV(48kHz/2ch)からSDIへの変換時には、ch3/4にch1/2 のコピーが入ります。
	AES/EBU	BNC×2 (ch 1/2、 ch 3/4) ※ 48kHz 20bit (Locked)、またはAES/EBU入力をそのまま出力します。
	DV	48kHz/Locked/16bit/2ch 32kHz/Locked/12bit/4ch
	アナログ	アンバランスオーディオ (RCA×2) 出力チャンネル選択可 (ch1/2, ch3/4, ch1+3/2+4 ミックス, ch1+2+3+4 ミックス)

TC入出力	LTC入力	BNC x 1
	LTC出力	BNC x 1
	VITC入力	SDI入力から分離
	VITC出力	SDI出力に重畳 ※ラインセレクト機能あり
REF IN	B. B. 入力	BNC×2（入力及びループスルー、75Ωの自動ON/OFF） ※REF同期で SDI 出力が可能です。
REMOTE		D-Sub9ピン（メス）×1（RS422A） AV/C → RS422A コマンド変換機能
電源		DC12V（ACアダプタ付属）
消費電力		12V, 1. 2A（最大14W）
動作温度		10℃～35℃
動作湿度		40%～80%（結露のないこと）
保存温度		-20℃～60℃
保存湿度		20%～80%（結露のないこと）
外形サイズ/重量		215(W)×44(H)×241(D)mm / 2. 0kg（突起物を含まず） EIA規格準拠19インチハーフラックマウントサイズ

付録：コンポーネント出力について（オプション）

別売の変換ケーブルを使用すると、コンポーネント出力が可能になります（排他使用）。



Note

アナログオーディオ出力はアンバランスオーディオです。
オーディオ出力をバランスオーディオへ入力する場合は、アンバランス→バランスコンバータの併用や、VTRの入力レベル調整、タイムラインのオーディオレベル調整などを行い、適正なオーディオレベルにしてください。

参考：変換ケーブル

種別	メーカー	型番	長さ
S-BNC（オス）	カナレ	2VS003-F1.5C	0.3m
S-BNC（メス）	カナレ	2VS003-FJ1.5C	0.3m

※上記のカナレ製ケーブルを使用の場合、白線あり「B-Y出力」、白線なし「R-Y出力」です。

memo